

会報第31号
発行日 平成19年4月30日
発行・編集 V・G 槻輪
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co 銅鐸つくり

きりん V.G 槻輪だより

わがまち紹介 南茨木

銅鐸つくりのまち・さくら通り

茨木市立文化財資料館

(東奈良の環壕集落跡に)

昭和59年3月開館。

東奈良の環壕集落遺跡は弥生時代の遺跡として全国的に有名です。

このあたりは、弥生時代に既に、高度な文化が栄えていたようです。特に昭和48年から翌年にかけて出土した銅鐸・銅戈・勾玉などの銅器類は、その年の文化財に関する十大ニュースのひとつになりました。

館内は中央に茨木市全体の地形模型に史跡・遺跡の有る場所を電光で示しています。館長から時代順にその背景・遺跡との関連の説明を受け、茨木を理解することが出来ました。

又、陳列棚は、時代順に提示され、展示品を見ながら説明して頂きました。

先人たちが残した貴重な文化財である銅鐸の鋳型、土器、市内古墳の模型、古文書、火縄銃、民俗資料七百点のほか、戦時中の資料を郷土茨木の歴史に沿って

展示しています。

写真の銅鐸鋳型は、凝灰



銅鐸鋳型

質砂岩という石に文様を彫り込んだ、第一号流水文銅鐸鋳型で、国の重要文化財に指定されています。別の銅鐸鋳型や、精錬炉に風を送る吹き口が出土し展示もしています。

銅鐸鋳型出土地

(東奈良遺跡)

奈良と言っても茨木市の南部の地名です。弥生時代の遺跡として全国的に有名です。その理由は、銅鐸にあります。

銅鐸は、古代の重要な研究対象ですが、東奈良遺跡で、昭和48年頃銅鐸の鋳型が出土しました。

原田神社銅鐸(豊中)と我拝師山銅鐸(香川県)が

同じ銅鐸の鋳型から鋳込まれたことがわかった。

そして、この鋳型によって作られた銅鐸が、大阪府豊中市桜塚や、香川県善通寺市我拝師山から出土して、どうもこのあたりは青銅器やガラス製品の鋳造技術集団がいたらしいと言ったことになったのです。

これまでに出土した遺物は、壺・甕・高坏・鉢などの土器類、石斧・石包丁・石鏃・石錐などの石器類、鋤・鍬・杵・臼などの木器類、又食用にしたと考えられる貝や鹿・猪などの骨など当時の生活必需品はすべて出土しています。

遺構は弥生時代から古墳前期と思われ、遺構の回りには多くの古墳があるとのこと。一重の環壕の内部に多数の住居や高床式倉庫など大型建物があり、外部には広大な墓域もあった。

この集落が奈良県の唐古・鍵遺跡と並ぶ日本最大級の銅鐸工場、銅製品工場であり、弥生時代の日本の数多くの遺跡の中でも、銅鐸を各地に配布できるような政治的、地理的にも重要な位置を占めていたことが伺える。

太田廃寺

太田廃寺は東太田にあり、塔婆心礎(五重・三重塔の中心柱を支える石)、心礎の中心の長方形の舍利孔より舍利容器一具が発見された。舍利容器とは舍利(仏の骨あるいはそれに代わる宝石類)を納める容器をい



い、日本においてこの一具が現存するのは他に二例しかない貴重なものである。(東京国立博物館蔵)

これらの点から太田廃寺は7世紀後半(法隆寺再建頃)に創建された立派な伽藍をもつ寺であったことが想像される。

桜通り

S・O

「大阪みどりの百選」にも選ばれた元茨木川緑地です。茨木川緑地は、昭和24年に廃川となった、全長5キロメートルの元茨木川をグリーンベルトとして整備された緑地公園です。桜を主にクスノキ、カシ、ハナミズキ、レンギョウ等約



6月度行事予定

“四季を味わい、古き都を散策：長岡京市”

月 日：平成19年6月21日(木)
集合場所：阪急長岡天神駅 改札出口 13:00集合
順 路：阪急長岡天神駅→長岡天満宮→埋蔵文化財センター→寂照院→走田神社→長岡市立図書館→長岡天神駅
長岡京市ふるさとガイドの会に案内して頂きます

5月度行事予定

“まちなかに残る貴重な緑の空間：京大農場”

月 日：平成19年5月17日(木)
集合場所：阪急高槻市駅 改札出口 13:00集合
順 路：阪急高槻市駅→京大農場 本場→安満遺跡→京大農場 古曽部温室→阪急高槻市駅